

障がい者就労支援事業所のための自習用教材・書籍等

利用者の方々の“自立”を支援するため、自己研鑽して就労支援のレベルを高めてゆきたいとお考えの職員・理事の方々のために、役立つ教材を選びました。

就労支援を進めるためには、企業を理解することや、一般的なノウハウを事業所の運営に取り入れることが必要と考えることから、福祉分野のものより、経営学や心理学といった分野を中心に紹介しております。

独学をはじめ、職員同士の研修、一般就労を目指す利用者の方も交えた研修などに、利用していただくことを想定しています。

また、勉強のためばかりでなく、そのまま実用書としても利用できます。

無料ダウンロードできる教材

・「**工賃向上計画**」策定・実現ノウハウ集

第2部 実現へのノウハウ（27年度改訂版）（北海道社会福祉協議会）

<http://www.shougai-syuurou.jp/pdf/2016nowhow2.pdf>

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

もともとは就労継続支援B型事業所のためのものですが、A型事業所や就労移行支援事業所にもそのまま利用できます。

障がい者の“自立”という大きな目的のために、一般企業の経営ノウハウを、どのように活かしてゆくか、総合的に論じています。

「27年度改訂版」からは、2つの架空の事業所が交互に舞台となるケーススタディを、各章に掲載しました。

・「**創業の手引き**」（27年度版）、「**創業ポイント集**」など（日本政策金融公庫）

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/sougyou03.html>

独学 **職員研修** **実用**

個人が「創業」する場合の手引書ですが、事業選択の考え方、資金計画の立て方などは、事業所が新規事業などを検討する場合にもそのまま使えます。

・「**『経営力向上』のヒント～中小企業のための『会計』活用の手引き～**」

（中小企業庁）

<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/kaikei/2016/160510kaikei.pdf>

独学 **職員研修** **実用**

「会計」の数字をベースに、「資金繰り」を管理する、組織を活性化する、現場の生産性を上げる、社会から評価される、といった目的のための具体的な手法が説明されています。

入門的なことから、レベルの高い内容まで、一冊で網羅されています。

一般企業向けに書かれたものですが、福祉事業所にもそのまま使えます。

・「品質管理検定（QC検定） 4級の手引き」（一般財団法人日本規格協会）

http://www.jsa.or.jp/wp-content/uploads/grade4text_ver3.0.pdf

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

組織がよりよい製品やサービスを社会に提供するための基本「品質管理」について、社会人としての心構えから、「QC 7つ道具」といった具体的手法まで、易しく説明しています。

新入職員研修の教材などとしても適当です。

書籍

1. 経営戦略、新規事業開発、マーケティング戦略

①『これ一冊でできるわかる 事業計画書の作り方 CD-ROM付』

（渡邊卓著、あさ出版）

独学 **職員研修** **実用**

版を重ねているロングセラーです。

タイトルからは、融資や補助金を受けるための安易なノウハウ本を想像されるかもしれませんが、内容は、オーソドックスな経営戦略論の立場から、そもそもどのような事業を立ち上げるか合理的に検討するための考え方からきちんと説明しているものです。

事業所で新規事業を計画したり、現在の事業を根本的に立て直そうとされる場合は、この種の書籍が手元にあれば役に立つでしょう。

②『ヒット商品が面白いほど開発できる本』（太田昌宏著、中経出版）

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

こちらもタイトルと少々異なって、オーソドックスなマーケティング戦略論の立場をきちんと踏まえながら、“商品開発”の具体的なノウハウを非常にわかりやすく説明しています。

実用書であるとともに、研修の教材としても有用です。

③『コトラーのマーケティング理論が面白いほどわかる本』

（宮崎哲也著、中経出版）

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

事業所の商品・サービスが売れない、または売れるけど利益が出ない、といった場合、まず検討すべきは、“マーケティング”の理論に当てはめて、妥当なことをやっているかどうかです。

この本は、現代マーケティングを体系化したP・コトラーの理論を、非常に平易に説明しています。

最終章では、社会福祉など非営利の事業にも必要な、“社会的マーケティング”等の考え方が紹介されています。

④『[改訂3版] MBAマーケティング』

(グロービス・マネジメント・インスティテュート編著、ダイヤモンド社)

独学 **実用**

やや上級向きです。

上場企業の事例を実名で挙げながら、マーケティング戦略の体系を説明しています。

⑤『最小の手間で最大の効果を生む！ あたらしいWebマーケティングの教科書』(西俊明著、技術評論社)

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

福祉の事業所でもホームページを設置したりフェイスブックを始めることは普通になりましたが、“就労支援”や“利用者獲得”といった目的のために、それらを有効に活用できているところは少ないと思われます。

この本は、オーソドックスなマーケティング戦略の考え方をベースに、これらインターネット上のツールを、できるだけお金や人手をかけずに有効活用する方法を具体的に説明しています。

技術的な知識のない方でも容易に読み進めて、すぐに活用することができます。

2. コミュニケーション

①『カウンセリングとは何か』(平木典子著、朝日新聞社)

独学 **職員研修** **実用**

カウンセリングの第一人者によるロングセラーで、この分野では教科書的存在です。

カウンセラーに限らず全ての対人援助の仕事にとっても基本となる、「聴く」「共感する」「尋ねる」といったコミュニケーションのあり方を、カウンセリング・プロセスの説明を通して具体的に学べます。

特に心理学等の基礎知識は必要ありませんが、ある程度の問題意識を持った方にお勧めします。

②『アサーションの心 自分も相手も大切に作るコミュニケーション』

(平木典子著、朝日新聞出版)

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

一般向けに書かれた、カウンセリングの第一人者による最新作です。

自分の思いを大切に「伝え」、かつ相手の思いを大切に「聴く」、**“自他尊重のコミュニケーション”**のあり方を、事例を挙げながら述べています。

「職場のコミュニケーション」をパターン化し、うまくいったりいかなかったりする要因を具体的に説明しています。

誰にでもわかりやすい内容ですので、研修の教材としても利用できます。

③『マイクロカウンセリング技法 ー事例場面から学ぶー』

(福原真知子編著、風間書房)

独学 **職員研修** **実用**

特定の理論的立場に偏らず、具体的な“技法”のあり方を体系化してカウンセリングが誰にでも使いこなせることを目指した「マイクロカウンセリング」を、豊富な事例場面（「良い例」と「悪い例」）と、迫真の演技のDVDで紹介しています。

「マイクロカウンセリング」は、プロの心理カウンセラーに限らず、対人援助の仕事に従事する人たちのコミュニケーション訓練としても有用です。

本書の「事例場面1」は、知的障がい者の通所施設が舞台になっています。

3. 営業活動、販売促進

①『「営業の基本」がしっかり身につく本』(岩泉拓哉著、かんき出版)

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

福祉事業所であっても、一般の法人や個人を対象に営業するのでしたら、ビジネス界の常識を習得する必要があります。

本書は、版を重ねているロングセラーの新装版です。

やや古い内容もありますが、「営業」の心構えから具体的なテクニックまで、非常にわかりやすく、網羅的に述べられています。

研修の教材としても有用です。

②『提案営業の進め方』(松丘啓司著、日経文庫)

独学 **実用**

無理に売り込むのではなく、あくまで顧客のニーズに沿い、結果として売れるという「提案営業」の考え方を述べています。

ページ数の少ない新書本ですが、やや意識の高い読者向けです。

③『売上アップに効く！ 売り場づくりの基本61』(河野英俊著、秀和システム)

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

店舗で商品を販売する事業所向けです。

店構え、レイアウト、陳列、POP、接客などについて、基本的・教科書的ですが大事な内容が、チェックポイント形式で述べられています。

小規模の店舗でもすぐに実行できる内容です。

4. 改善活動

①『仕事がどんどんうまくいく「カイゼン」の教科書』(吉原靖彦著、中経出版)

独学 **職員研修** **利用者含む研修** **実用**

日本企業の強さの秘密でもあった「改善活動」について、その考え方から具体的な手法まで、豊富な図やツール集とともに説明されています。

あらゆる事業所で、生産性向上やコミュニケーション活性化のために活用できます。

②『図解 基礎からわかるQC7つ道具』(市川享司著、ナツメ社)

独学 **実用**

改善活動のツールのうち、「QC7つ道具」を中心に詳細に説明されています。製造系の事業所向けです。

やや高度な内容も含まれます。

5. 就労支援

①『プレステップ キャリアデザイン〈第3版〉』

(岩井洋・奥村玲香・元根朋美著、弘文堂)

職員研修 **利用者含む研修** **実用**

“キャリアデザイン”つまり「長い人生における自分の生き方や働き方について考え、計画を立てること」を、「自己分析」「現代社会の理解」「自己PR」といったテーマに分け、全15回で、ワーク（作業）をしながら学んでゆく内容になっています。

ワークシートが付属(出版社のサイトからもダウンロードできます)していますので、研修教材として、そのまま利用できます。

主に大学生のキャリア教育を想定した内容ですが、職員間の、あるいは一般就労を目指す利用者の方も参加した研修に有用です。

②『キャリアコンサルティング 理論と実際 4訂版』

(木村周著、雇用問題研究会)

独学 **職員研修** **実用**

“キャリアコンサルティング”のオーソドックスな教科書の1つです。

キャリア理論、関連法規、施策といった基礎的知識から、キャリア支援の実際のプロセスまで、網羅的に説明されています。

支援者向きの内容です。